

2. 学部開放授業

授業科目名 (英文表記)	東牟婁地域の自然 (Nature of Higasimuro place. Wakayama Prefecture)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	此松 昌彦、古賀 庸憲、高須 英樹 (非常勤)		
開講	和歌山県東牟婁地域 (フィールドワーク中心)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：5月11日(出) 13:00～17:00	第4回：7月20日(出) 13:00～17:00	
	第2回：5月12日(日) 10:00～17:00	第5回：7月21日(日) 10:00～17:00	
	第3回：6月2日(日) 11:00～16:00	各回で昼休みを40分程度と休憩を挟む	
【授業の概要・ねらい】			
<p>この授業では串本町から那智勝浦町沿岸部・丘陵部等といった地質・地形や磯や干潟の生物、植生を観察します。また田辺市中辺路町ではモミ・ツガ林などの内陸山地の植生についても観察します。</p> <p>東牟婁地域は地形的に四国と並び、険しい山が多く、沿岸部では海岸段丘や陸繋島などがあり、磯などが発達しています。地質的には付加体の堆積物、浅い海の堆積物、火成岩体など多様な地質が見られます。生物では磯や那智勝浦町の干潟の生物を観察することができます。植生では、シイ、ウバメガシなどからなる常緑樹林が見られ、また、モミ・ツガ林なども見られます。このような和歌山県東牟婁地域にある多様な地形・地質、多様な生物、植生を実際に観察し、理解することを目標とします。</p>			
【授業計画】			
第1回			
那智勝浦町周辺の自然1 (古賀・此松・高須(非常勤)・ゲスト：和田 恵次氏(和歌山県立自然博物館長) 那智勝浦町の干潟であるゆかし潟周辺の生物や地形などを観察する。			
第2回			
那智勝浦町周辺の自然2 (古賀・此松・高須(非常勤)・ゲスト：和田 恵次氏(和歌山県立自然博物館長) バス移動の予定 那智谷周辺の地形・地質や植生を観察し(土砂災害啓発センター見学)て、宇久井半島の自然を観察する。			
第3回			
田辺市中辺路町の和歌山県内陸部の植生・地形(此松・高須(非常勤)) バス移動予定 中辺路町周辺のモミ・ツガ林の観察			
第4回			
串本町周辺の自然1 (古賀・此松・高須(非常勤)) 串本町沿岸部における磯の生物と地質			
第5回			
串本町周辺の自然2 (此松・高須(非常勤)ゲスト：本郷 宙軌氏(南紀熊野ジオパークセンター) バス移動予定 南紀熊野ジオパークセンターを見学し、潮岬の自然、古座川周辺の自然を見学する。			
【到達目標】			
東牟婁地域を主体とした沿岸の地形・地質、海岸植生、内陸部の植生、磯の生物を総合的に学び、自然度の高さ、人間が関与した里山の自然と比較して、保全すべき自然について理解できる。			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
各回でレポート課題を出して提出してもらおう(90%)。受講生の現地での態度(質問や意見などのやり取り)10%で行う。			
【教科書】			
特になし 資料は随時紹介します。			
【参考書・参考文献】			
虫たちの熊野 後藤伸 紀伊民報社 ISBN：978-4907841003			
明日なき森 熊野の森ネットワークいちいがしの会 新評論 ISBN：978-4794807823			
【履修上の注意・メッセージ】			
東牟婁地域でのフィールドワークを中心とした授業を行います。各回とも最寄り駅の集合になります。和歌山9時台発(特急くろしお)の列車で集合場所の最寄り駅に到着するように来てください。また、社会人は各自車で来ることも可能ですが駐車場などは各自で確保して下さい。集合場所など詳細は追って連絡します。連日の授業となるので宿泊の必要な方は、各自でご予約下さい。大学生では学研倍の加入、怪我等の対応のために保険料を徴収します。野外に出られない雨天の場合は、屋内での講義になる可能性があります。これについてもホームページなどで連絡します。			
【履修する上で必要な事項】			
特になし。			
【授業時間外学修についての指示】			
南紀熊野地域の自然(特に東牟婁地域)に関する情報などを、ホームページ等で調べて、事前にどんな生物が生育しているのか、どんな地質・地形をしているのかを予習しておいてください。			
【授業理解を深める方法】			
体験学習として実物の東牟婁地域の自然環境を見てもらいながら、地質・地形と動物、植物との関係を学び学習するものである。			